



市議会議員  
砂田喜昭  
Tel. 67-4322



参議院議員  
井上哲士

衆議院議員  
笠井あきら

党市政策委員長  
石山忠義  
Tel. 67-3525

党県政対策委員  
上田ゆみ子  
Tel. 68-2106

# どの子にもゆきとどいた教育を

## 30人学級署名を呼びかけ みんなの会小矢部



署名を呼びかける「みんなの会小矢部」のみなさん 11月3日、ピアゴ前

「明るい富山県政をみんなでつくる小矢部の会」(みんなの会小矢部)は11月3日午後、スーパー「ピアゴ」小矢部店前で、「30人学級」(子どもの貧困と教育格差をなくし、ゆきとどいた教育を求めするための請願署名を呼びかけました。

- ① 毎年予算編成が始まる頃、教育予算を大幅に増やしてください
- ② 30人以下の学級編成にしてください
- ③ 父母負担を減らしてください

「小矢部市の住民ではないのですが、いいですか」「苦勞さん」などの声も聞かれました。5人で訴え、1時間809筆集まりました。

「富山県ではようやく35人学級が小学1、2年と中学1年で行なわれるように

### 視察 風力発電 第三セクター鉄道

## 風力発電 可能性は?

## ひたちなか海浜鉄道

## 税金投入で運行を維持

小矢部市稲葉山にある風力発電は日立エンジニアリング・アンド・サービス社が出資した会社が運営しています。現在600キロワットの風力発電3機が稼働しています。が、今後の増設の可能性を探るために訪れたものです。

自然エネルギーによる発電量を電力会社に固定価格で買い取らせる制度に切り替えることがカギとなつています。日本も鳩山首相が国連で温室効果ガスの排出量を1990年比で25%削減すること

ひたちなか市が出資してつづいた第三セクター鉄道は、社長が富山県高岡市出身です。

市民も自治会を中心に「おらが湊鉄道応援団」をつくり、宣伝パンフレットの作成などを自分たちで行っているそうです。

地球温暖化対策で、風力発電などの自然エネルギーを活用することがますます重要になります。世界の風力発電量はすでに1億2千万キロワットで、日本の総発電量の60%にもなっています。単年度での風力発電の導入量は、世界全体で2700万キロワット、このうちアメリカと中国で54%も占めています。日本は188万キロワット、世界の1.5%に過ぎません。

世界の例からも、風力発電など可能性も開けます。



日本初のステンレス製気動車、内部には鉄道写真や鉄道模型を展示=10月28日、那珂湊駅

ひたちなか市は鉄道存続に熱意があつて、運行費補助を年間3千万円出しています。期間は5年間ですが、年間利用者75万人が使う鉄道に税金を入れることは無駄使いではないと説明していました。

全国から集めた古い車両で運行していました。駅舎も大正時代に建てられた木造で、映画のロケにしばしば使われるそうです。テレビドラマにも「しばらくの内に3回も登場する」ので、社長は鉄道への税金投入について「市の宣伝費と考えれば、決して高くない」と力説していました。駅には古い車両がいくつも展示されていました。

市議会企業誘致・新幹線対策特別委員会は10月27・28日、茨城県を訪れ、日立エンジニアリング・アンド・サービス社で風力発電について、ひたちなか市でひたちなか海浜鉄道について視察しました。砂田市議も参加しました。

第42回  
区画整理・都市再開発対策  
全国研究会参加

第42回区画整理・都市再開発対策全国研究会が11月7・8日、神奈川県箱根湯本で開かれ、砂田市議が参加しました。石動駅南土地区画整理事業が仮換地指定の段階まで進んできたことで、住民のみなさんの要望をどのように反映させていくのか、全国の経験から学ぶためです。